

## モチモチの木①

P104 モチモチの木  
学習のゴール  
心に残ったことを、自分の言葉で  
表そう。

めあて  
P116

豆太とじさまはどんな人物か、二人の会話や行動を整理して考え方よ

### 登場人物の会話、行動

場面	豆太	じさま
豆太	真夜中に、「じ」と小さく声をさまで言う。	「じ」と、すぐ自をさましてくれる。
じさま	「じ」と、すぐ自をさましてくれる。	「じ」と、すぐ自をさましてくれる。
豆太	豆太とじさまはどんな人物か、二人の会話や行動を整理して考え方よ	豆太とじさまはどんな人物か、二人の会話や行動を整理して考え方よ

上の書き方を見て、「学習のゴール」と「めあて」を書きましょう。  
学習のゴールは黒、めあては赤で囲みましょう。  
教科書を読みながら登場人物の会話や行動を表にまとめましょう。  
意味の分からない言葉があれば、辞書で調べましょう。

## モチモチの木②

豆太について

前回まとめた表を見ながら、豆太とじさまがどんな人なのか、思つたことを書きましょう。

上の書き方を見て、「めあて」を書きましょう。

「語り手」は豆太とじさまの人がらをどう思つているのか、考えて書きましょう。

じさまについて

めあて	P16
語り手	は豆太の
て	いるの
い	か読
る	みと
う。	どう思つ
豆太の	人がら

それが分かる文

### モチモチの木③

めあて

二つの場面の豆太をくらべよう。

「霜月二十日のばん」の豆太 P108

上の書き方を見て、「めあて」を書きましょう。

「霜月二十日のばん」の場面の豆太と「豆太は見た」の場面の豆太の様

を書き出して、豆太の様子のちがいを考えて書きましょう。

「豆太は見た」の豆太 P109

豆太のちがい

#### モチモチの木④

めあて  
モチモチの木のとらえ方をくらべ  
て考えよう。

医者様の言つたこと P14

上の書き方を見て、「めあて」を書きましょう。  
モチモチの木のとらえ方について、二人の言つたことを書き出しまし  
う。  
二人の言つたことをくらべて、二人のモチモチの木のとらえ方のちが  
いを考えて書きましょう。

じさまの言つたこと P14

くらべて思つたこと

## モチモチの木⑤

めあて

さいごの場面の「豆太」の様子を見て、「じさま」はどう思つたか  
考えよう。

自分の考え方

上の書き方を見て、「めあて」を書きましょう。

最後の場面の豆太の様子を見たじさまはどんなことを思つたか、考えて書きましょう。理由も書けるようにしましょう。(ここにこう書いてあるから。など)

## モチモチの木⑥

「めあて モチモチの木」を読んで、心にのこつたことを自分の言葉で表そう。

どこを読んで、それが心にのこつたのか。  
（文章の引用） P117 心にのこつ

上の書き方を見て、「めあて」を書きましょう。  
心にのこつたことを書きましょう。どこを読んでそう思つたのか、「引用」して書きましょう。  
左の書き方を見て、「まとめ」を書きましょう。あなたのあいているところには、言葉を入れましょう。（考えたり教科書を見たりして。）

まとめ P118 たいせつ

物語を読むときは、登場人物の  
や を考え方ながら読む。

文：登場人物の や が  
そのまま表れていることが多い。  
文：人物の や 、  
を表しているところには、その人  
物のことがある。

## モチモチの木⑦

上の書き方を見て、「めあて」を書きましょう。

「たとえ」を使った文を書いてみよう。

「まるで～」や「～みたいだ。」「～みたいに～」「～みたいな～」や

「～のようだ」「～のよう～」「～のようなく」といった言葉を使つたり、「霜が足にかみついた。」のように使わないで書いたりしてみましよう。

「この本、読もう」にある本を見つけて読んでみましょう。

例　めあて  
　　たとえ　～を使つて文を書いてみ  
　　う。 P118

例　まるで～、灯がついたみたいだ。  
　　このウサギの毛は、雪のようだ。  
　　P114

例　霜が足にかみついた。  
　　白い。 P119

短文を書こう。  
　　P119

この本、読もう  
P119